

# ■ 高大連携講座(2年生 + 1年生希望者)

6月4日・11日・18日(土)の3日間、近隣の大学の先生に来ていただき、総合科学科の2年生全員と1年生の科学探究基礎を選択している生徒が、高大連携講座を受けました(下表参照)。この講座では、先生方が大学で研究しておられる最新の科学の話題をわかりやすく説明していただくとともに、今後、課題研究などに取り組むにあたって参考になる「科学研究の面白さ」や「研究を行なう上での心構え」や「大学での理系の学生生活」などについてもお話しいただき、総合科学科の生徒にとって、将来の進路を考える上でも、たいへん参考になる有意義な内容でした。

日時	テーマ	所属	講師
6月4日(土)	海を渡った縄文石斧	大阪府立大学 理学系研究科	前川 寛和先生
	三角関数の世界	大阪電気通信大学 工学部	萬代 武史先生
6月11日(土)	組み立てよう、有機分子	大阪市立大学 理学研究科	坂口 和彦先生
	化学反応の「舞台」を創る	大阪府立大学 理学系研究科	松坂 裕之先生
	雑草と人の暮らし	大阪府立大学 人間社会システム科学研究科	中山祐一郎先生
6月18日(土)	南極昆虫ナンキョクユスリカの生きるしくみ	大阪市立大学 理学研究科	後藤 慎介先生
	コンピュータのしくみを体験する	大阪府立大学 工学研究科	馬野 元秀先生
	ものづくりと材料学 ー材料から製品へー	大阪大学 工学研究科	森 裕章先生

## ● 高大連携講座に参加して

今回は高大連携講座ということで、8人の大学の先生にお越しいただき、講義を受けました。私は物理分野を選択し、大阪大学工学研究科の森先生に溶接や核融合発電についての講義を受けました。内容としては、溶接の際に発生する穴の話や、2020年にフランスに完成予定の国際核融合発電実験ITERに使われている放射線に強い物質の溶接についての話を聞くというものです。私自身ちょうど核融合発電について調べていたところだったので、とても興味がわく内容でした。講義では最初にアルミニウムの溶接技術や問題についての話がありました。そして最後に核融合発電の大きな説明と現状の進展具合、これからの課題についての話は未来の到来を予感させるもので、とてもワクワクしましたし、内容は確かに大学レベルでとても高度なものでしたが、それを高校生にもわかるように大学の方がうまく説明してくださり、それほど苦も無く理解することができました。この講義を通して、改めて未来が来ているのだなと実感しました。(サイエンス部 辻)

